

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 3 月 3 日

事業名称		地方創生活気ある商店街づくり事業費〔地方創生活気ある商店街づくり事業〕								
予算科目	款 7	商工費	項 1	商工費	目 2	商工振興費	事業番号	4		
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）									
担当部署・課長名	産業振興		課		商工		係	課長名	小川 泉	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	3 - 5		
【施策名】 商業の振興							総合計画書（ページ）	77		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）					
	市内商店街 →				市内商店街数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。〔簡潔に〕				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）					
	市内商店街の会員が増加し、商店街の活性化に向けて活動している。 →				①モデル地域内創業者数（本事業及び創業支援事業において把握できる方） ②市内創業者数（本事業及び創業支援事業において把握できる方）					
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）					
	市内商店街を活性化するため、地方創生推進交付金を活用し、市内商店街の中でモデル地域を設定し、モデル地域内での創業支援や、活性化に向けた空き店舗の活用、相互連携、創業チャレンジ施設開設等、活性化に向けた取り組みを実施した。 →				総事業費					
3 経費	単位		過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
			平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値		9	9					
	成果指標	②の数値		①0 ②2	①3 ②1					
	目 標	②の目標値	-	-	-	①4②3				
目標値設定の考え方 国に認定を得ている推進交付金計画の単年度目標を記入したものである。										
3 経費	活動指標	③の数値		5,049,074	12,688,000					
	事業費（実績）		円	5,049,074	12,688,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は 8,310,000 円 時間単価は、 4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円	2,549,074	6,344,000					
		特定財源	円	2,500,000	6,344,000					
		（うち受益者負担）	円	0	0					
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	0.5	0.5					
		所要人数（再任用）	人	0.0	0.0					
		職員人件費（再任用以外）	円	4,155,000	4,155,000					
職員人件費（再任用）	円	0	0							
事業費＋人件費		円	0 9,204,074	16,843,000						
4 環境変化等	（1）開始年度		30 年度							
	（2）環境の変化		平成30年度から国の地方創生推進交付金の採択を受け、今年度は3年計画の2年目として事業を実施した。今年度については昨年度に引き続きワークショップを実施し、自分達の商店街の活性化について考え、それと併せて商店街の空き店舗ツアーや商店街の店舗間での相互連携を図る事業等を実施した。また、モデル地域内にこれから創業しようと考えている方等を積極的に商店街に取り込めるように創業チャレンジ施設を開設し、商店街に人を集める仕組みづくりを実施した。							

事業名称	地方創生活気ある商店街づくり事業費〔地方創生活気ある商店街づくり事業〕			
担当部署・課長名	産業振興	課	商工	係 課長名 小川 泉

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 市民の方から、本事業の一環として平成31年度に開設した東大和市創業チャレンジ施設「チェルステ・ガーデン」について、「まだ何しているところかみんなに知られていないけど、何かをやりたい人がお試してお店をできる施設が商店街にできたのはいいことだと思いますよ。」との声をいただく。お試し創業の場として、創業希望者に活用いただけるように、そして商店街活性化のキッカケとなるような場所にしていかなければならないと考える。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑤補助・助成		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
7 課題	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 創業チャレンジ施設を開設するにあたり、運営事業者をプロポーザル形式で選定し、選定された事業者に対し、運営補助を行い、事業者との協議を経て、開設した。今後においても運営事業者と運営について意見交換しながら、より良い施設運営を目指す。			
	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 平成30年度については、市内モデル地域内での創業希望者と、既存事業者のそれぞれに対しての取組みを行ったが、今後はそれぞれの立場の方々が、うまく溶け込みながら商店街の活性化に向けて協働できるよう、支援していく必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 今年度のワークショップにモデル地域内に創業した方にも参加してもらい、新たな方が加わることで商店街に新たな考え方が生まれ、活性化の機運が醸成した。また、新規出店者を募るために、空き店舗活用ツアーや店舗間の連携を図るために相互連携事業も実施し、商店街内の連携を図った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 今後についても、創業チャレンジ施設をはじめ、商店街と連携を図る仕組みを構築し、商店街の方々が自ら活性化の取組みを行えるように引き続き支援を実施する。			
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 商業の振興 ☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☒ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 今後についても、創業チャレンジ施設をはじめ、商店街と連携を図る仕組みを構築し、商店街の方々が自ら活性化の取組みを行えるように引き続き支援を実施する。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 商店街の皆様と創業チャレンジ施設の運営事業者並びに東大和市商工会と更なる連携を強化し、商店街の活性化に向けて継続的な支援方法を検討していく。			